

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL: 矢古宇、SL: 千賀、義間
2. 山城/ルート 南八ヶ岳: 赤岳～横岳～硫黄岳縦走
3. 交通手段 自家用車

4. 行動記録

<入山日 2017年2月24日(金)。 下山日 2017年2月26日(日)>

第1日 2017年2月24日(金)

21:30JR西宮駅南口

第2日 2017年2月25日(土)

→ 2:00?諏訪湖SA (車中仮眠) 7:00起床 8:00諏訪湖SA発

→ 8:40美濃戸口 (準備) 9:20美濃戸口発 → 12:30赤岳鉱泉

テント設営 18:00就寝

第3日 2017年2月26日(日)

1:00起床 3:00赤岳鉱泉発 → 3:30行者小屋 3:50行者小屋発

→ (地蔵尾根) → 5:30地蔵の頭 → 7:35横岳 → 8:10硫黄岳

→ 9:40赤岳鉱泉 テント撤収 11:00赤岳鉱泉発 → 13:30美濃戸口

(入浴、食事) → 帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- ・①睡眠時間約1時間で土曜に縦走、②睡眠時間を確保した上で日曜に縦走、の2案を考えていた。
- ・美濃戸口～美濃戸までは林道凍結のため車両通行禁止となっており、片道約1時間の行動時間増となる。
- ・土曜に縦走するには、睡眠時間を約1時間程度しか確保できず、行者小屋まで+縦走となり行動時間12時間以上?となるため、矢古宇は、睡眠不足での歩行/登頂に不安を感じていた。そこで、行きの車中で、改めて3人で話をした結果、②日曜の縦走、の案を採用することとなった。
- ・日曜に縦走し下山をすることから、テント泊地を行者小屋から赤岳鉱泉に、縦走はテント撤収後にテント装備を背負ってではなく空身に、変更した。また、地蔵の頭付近で夜が明けるよう、赤岳鉱泉から行者小屋経由地蔵の頭までの行動時間を逆算し、3:00行動開始とするため、起床時間を1:00とした。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・美濃戸口～美濃戸までの林道は、凍結のため、車両通行禁止となっていた。そのため、片道約1時間の行動時間増となった。
- ・林道凍結のため、歩行開始からアイゼンを装着した。
- ・赤岳鉱泉までは特に問題無かった。
- ・テントは、硫黄岳修了山行時のスペースに設営した。
- ・共同食は、炊きたてのご飯（無洗米 4 合）、マグロ/サーモンの刺身（漬け用の義間秘伝タレ）、根菜たっぷり味噌汁。海鮮丼は、具材が傷まない冬山ならではの贅沢なお楽しみ？秘伝タレも絶妙で、美味しくいただいた。ご飯4合も、3人でほぼ完食。
- ・翌日は1:00起床のため、18:00に就寝した。
- ・地蔵尾根途中で1名は所用があったため、2名は先に地蔵の頭に向かい、頭の陰でツェルトを被って待機した。
- ・日が昇り始め、赤く焼けた山並みを横目にしながら、横岳に向かった。ルート経験者の千賀が先導した。トレースはついていいるが、岩場を巻くところ等はわかりにくく感じた。
- ・

報告者氏名 矢古宇靖子

2017年 4月 8日



マグロとサーモン丼！



横岳をバックに



硫黄岳から赤岳、阿弥陀岳を望む